

令和3年度 専門指導委員研修会

12月18日(土)に、令和3年度 専門指導委員研修会を根白石市民センター大会議室で開催しました。

今回の研修は、「コロナ禍における安全安心な子ども会活動に向けて、実践につながるための研修を行い、スキルアップを目指す」ことを目的とし、校区や子ども会関係者からも多くの参加がありました。

★子ども会活動におけるコロナ禍対策について★

専門指導委員からの実践報告 (青木 保奈美氏 千葉喜和子氏)



グループディスカッション



実際の活動報告の中から、感染症対策など参加者の協力を得ることや行事企画・運営の面で工夫することで様々な行事が実施できることを学びました。

★ポッチャ実習★

講師：宮城県障害者総合体育センター

遠藤 貴紀氏



ポッチャとは、イタリア語で「ボール」を意味します。老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に、そして競い合えるスポーツです。

今回も、お互いのナイスプレーにたくさんの拍手が沸き起こりました。

★バルーンアートの基本★

講師：専門指導委員 高橋 隆夫氏



長い風船があつという間にかわいい犬やお花に変身します。「これは子ども達が喜ぶね。」と言いながら、作る側にも笑顔がこぼれました。

この日は、仙台市で初積雪を観測した日でした。会場となった根白石市民センターには、前日からの物品の準備や当日の雪かきなどご協力を頂き、ありがとうございました。今回の研修で学んだことをぜひ今後の子ども会活動に活かしてほしいと思います。

